

でんでんくん



でんでんくん



きめたくん



つちこちゃん

No.6 令和2年1月24日

1年のまとめ(年度末までに取り組むこと)

発行：きこえとことば支援センター
(秋田県立聴覚支援学校)

今年度も残り2か月で終わろうとしています。ここでは年度末までに準備しておくよいよ引継ぎ資料について、一例ではありますがご紹介いたします。

〈関係学校職員〉⇔〈担任〉⇔〈本人〉⇔〈保護者〉

～次年度に向けて確認しておきたいこと～

- 難聴学級、交流学級で学習する教科の選定
- 交流学級でのT1の配慮、T2の役割
- 自立活動の時間設定と年間の予定
- 補聴器等の自己管理ができているか(学校、家庭)
- 座席、席替え
- 交流学級での聞こえ(先生の話や友達の発表)
- 校内放送やCDラジカセ、DVD教材使用時の聞こえや理解
- 難聴理解学習の計画
- 補聴援助システム(ロジャー)の使用について
- 行事、集会、部活等でのやりとりの工夫

【引き継ぎ資料】(例)

- 個別の支援計画
- 個別の指導計画
 - ・具体的な手立ての記入
- 最新のオーディオグラム
(裸耳と補聴器等装用時の聴力測定結果)
- 各種検査資料
- 補聴器等のデータ
- 面談の記録
- 通院時の記録

法定帳簿や学級経営案などは除いてあります。



特別支援教育セミナーでの実践報告

今年度、訪問した16校の中から、2校の授業実践を紹介いたします。

単元名 「くちばし」(国語 光村図書1年)

【鹿角市立十和田小学校1年難聴学級】

難聴児には分かりにくい「擬音語」を明示

くちばしと関連させた生活言語の拡充

文だけではイメージしにくい内容をイラスト化

吹き出しの活用(文を言い換えたり、言葉を足したりして理解を広げている)

こんこんこん

〈ポイント～国語における自立活動～〉

叙述から読み取ることがなかなか難しいという、児童の実態を踏まえ、イラスト化や吹き出しの活用を通して理解を促しています。また、生活言語の拡充につながるように、関連した言葉(口、唇、擬音等)も取り上げています。自立活動的な配慮が教材の中にも見える国語科の実践でした。

【題材名】 「季節の言葉を集めよう」（自立活動）

【大館市立城西小学校6年難聴学級】

【主な学習活動と手立て（☆）】

- ① 冬に関する言葉をさらに詳しく言葉で表現
☆色、形、大きさ、様子など考える視点をカードで掲示
☆児童の経験と結びつけて言葉を引き出すための児童と教師のやり取り
- ② 冬の言葉が答えになるクイズ作り
- ③ 話す相手（交流学級）を意識して出題練習
☆話すポイントを掲示、話す相手の心情や実際の場面を想定した練習



〈ポイント〉 難聴学級での学習が交流学級での発表へと生かされる内容で、児童の意欲につながっていました。相手を意識した話し方の練習が普段の話し方にも反映されることが期待される授業でした。

【特別支援教育セミナーに参加して】

○セミナー研（27回）で、よく質問されることや研修内容に取りあげられることを紹介します。

①語彙を増やすための実践例

②子どもの実態にあった自立活動について ③対人関係、社会性の育て方

○自立活動の指導は、登校してから下校するまでの学校の教育活動全体を通じて行います。子どもの心が動いている具体的な場面で、丁寧に子どもと対話することで子どもは確実に伸びていきます。また、すべての言葉を取りあげることができないので、「これは何?」「どうして?」と自ら「問う」「考える」子どもに育てていきたいです。（特別支援教育アドバイザー 濱田 啓子）

自立活動研修会～宮城教育大学 藤島教授をお迎えして～

1月9日に午前中は、幼稚部と小学部合同の事例検討会、午後は講演会という日程で行いました。講演会には他校からも10名程のご参加をいただきました。

ここでは、事例検討会で話題になったことを紹介いたします。障害を併せ有するお子さんについて、気になる行動の捉え方や対応の仕方についての助言をいただきました。

基本は気持ちの安定

→ 信頼できる人の存在

まわりの状況が分かりやすいこと

◆叩く、蹴るなどの不適切な行動

×「やめなさい」 禁止する言葉掛けはしない。

○「痛いから止めてください」理由を添えて伝える。

◆次の活動に移れないとき

○これまでの活動に勝る魅力あるものを用意する。

○「～したら、～しようね」「～の次は～をしようね」

前もって見通しがもてる支援をしておく。

子どもが分かる言葉で説明する。



きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）【直通携帯電話】090-8784-6302

〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

【聴覚支援学校】TEL：018-889-8572 FAX：018-889-8575

E-mail：chokaku-s_shien@akita-pref.ed.jp